

# 企画展 大久保ものがたり ~ 荒川との共存~

世界の四大文明の発祥地が全て河川沿いだったことからわかるように、河川流域の肥沃な大地には早くから人々が棲みつき、そこに高度な文明が発生した。規模の大小はあるものの、荒川流域も早くから開発され、仏教など当時の先進文化を受け入れる素地を作った。しかしながら、河川改修される以前の川は度々洪水を引き起こし、それはまさに「あばれ川」であり、「荒ぶる川」荒川の名をほいままにしていたといえる。この利点と欠点をあわせ持つ「荒川」と人々はどう付き合い、そしてどう向かっていったのか。大久保地域にスポットをあてて検証する。

○ 荒川の流れを求めて



羽根倉橋から見た荒川

Ⅰ 羽根倉河岸の賑わいいずこ



荒川漁船の移り

Ⅱ 荒川流域の文化を探る



備ヶ谷古墳群  
[1] 青古墳出土埴輪

Ⅴ 荒川との戦い



水守の家

Ⅲ 川を渡る



江尻の羽根倉橋

Ⅳ 荒川によって運ばれし数多の品々



アザケの「くさねの盆」  
[朝霞市秘書広報課提供]

Ⅵ 荒川に生きた人々



徳永新 斎藤祐典

## さいたま市立浦和博物館

### 交通案内

- JR北浦和駅東口から東武バス「市立病院行き」終点下車すぐ
  - JR東浦和駅から国際興業バス「馬場折返し場行き」終点下車徒歩7分
- ※ 駐車場が狭いため、なるべくバスをご利用ください。



埼玉大学教養学部現代学研究所「大久保プロジェクト」によるサイトからも関連情報が入手できます

大久保  
ものがたり  
WEB

<http://www.kyy.saitama-u.ac.jp/~ohkubo/>